

# 都市再生整備計画(精算報告)

<sup>ひ</sup><sup>み</sup>  
氷見地区

<sup>と</sup><sup>や</sup><sup>ま</sup>  
富山県 <sup>ひ</sup><sup>み</sup><sup>し</sup>  
氷見市



## 都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1(観光客の回遊性向上)</p> <p>・フィッシャーマンズワーフやカラクリ時計、上日寺など、地区内に点在する観光拠点や文化財と商店街を中心としたまちなか、交通結節点である氷見市を連絡する快適な歩行者空間を形成し、観光拠点への来訪者が一帯を周遊できる歩行空間を整備する。まちなかへの誘導策として、市商店街連盟が中心として『魚』や『牛肉』などの「氷見ブランド」を活用した食のイベントなどの開催により、集客を図る。あわせて、周遊の休憩地として市街地に潤いを与えている湊川沿い及び国道415号沿線にポケットパークを整備するほか、来訪者を案内するとともにまちなかの周遊を促す案内施設を整備する。</p> <p>・新たな市街地の魅力創出として、本市出身の有名漫画家の「キャラクターロード」づくりや、空き店舗を活用した市民ギャラリーを設置するほか、イベント開催の拠点となる「市民会館」の機能向上を図り、市民や来訪者に対する市街地の賑わいの拠点を形成する。</p>	<p>道路事業(街路):朝日公園線(基幹事業)、 道路事業(地方道):湊川左岸線、湊川右岸線、新町漁港線(基幹事業)、朝日川原1号線(関連事業)、 地域生活基盤施設(基幹事業)、地域創造支援事業(提案事業)</p>
<p>整備方針2(交通アクセスの向上と新たな集客拠点の建設)</p> <p>・来街者数の増加を図り、中心市街地の経済を活性化させるため、平成18年度開通予定の能越自動車道 氷見インターチェンジと中心市街地とのアクセス道路を、利便性の良いものに整備する。</p> <p>・氷見漁港敷地内の埋立地に、新たな集客拠点施設を建設する。</p>	<p>道路事業(街路):鞍川線、道路事業(地方道):七軒上庄川線、池田浜1号線</p>
<p>整備方針3(生活環境の向上)</p> <p>・急激な地区内の人口減に対応すべく、住民が市街地居住の利便性を享受するため、老朽化した雨水排水路を更新するとともに、地区内の主要施設を連絡する歩行空間の整備や消雪パイプを布設する。</p> <p>・平成15年度に行った都市計画マスタープラン市民意識調査において、市街地居住住民からの「身近に家族がくつろぐ広場・公園が欲しい」という多くの要望に応えるため、湊川沿いにポケットパークを整備することにより満足度の向上を図る。</p>	<p>道路事業(地方道):加納野線、湊川左岸線、漁港吐川線(基幹事業)、朝日川原1号線(関連事業) 地域生活基盤施設(基幹事業)</p>
<p>その他</p>	
<p>&lt;住民・NPO等による継続的なまちづくりの取り組み状況&gt;</p> <p>中心市街地の活性化に向け、氷見市商店街連盟が空き店舗を活用し、「まちづくり情報コーナー」「IT支援コーナー」「市民休憩コーナー」「会議・研修・ミニギャラリー」「チャレンジショップ・アンテナショップ」など様々な機能をもたせた「まちの駅Laぶりー茶屋」を運営しており、多くの地域住民や来街者に親しまれ活用されている。また、まちづくりNPO会議を開催するなど、まちづくりの拠点(まちづくりセンター)としての機能も有している。</p> <p>また、「ヒマワリのように明るく元気な氷見に」と、氷見青年会議所が「ひまわり大作戦」が行われている。「ひまわり大作戦」は市街地に隣接する埋め立て地の1ヘクタールの広場を約6万本のヒマワリの花で埋め尽くすであり、市内外から多くの参加者が訪れる。また、関連イベントとして開花祭や収穫祭、感謝祭などが行われるほか、7月下旬～8月中旬の夜間はライトアップされ多くの観光客が訪れている。</p> <p>(氷見市商店街連盟) 代表者 森 晨 朗 構成員 285名 活動実績 H13より空き店舗を活用した「ミニギャラリー」や「生涯学習教室」を開催し、中心市街地の活性化に寄与している。</p>	

